

日本ジオパークネットワーク災害対応方針

日本ジオパークネットワーク（JGN）に加盟している「霧島ジオパーク」内の新燃岳は、2011年1月19日、小規模な噴火が発生、その後活動が活発化し周辺地域に大きな被害をもたらしている。

また、3月11日には、三陸沖を震源に国内観測史上最大のM9.0の地震が発生し、津波、火災などにより広範囲で甚大な被害がでている。

日本列島は、その極めて複雑な地質的構造から地震や火山活動が非常に活発な地域であり、これらに起因する災害は何時どこで起きても不思議ではない。

JGNは、ジオパークによる地域の発展を目指して設立されたものであるが、このような災害時にこそ強力な連携による支援活動が重要であり、更なる相互の発展に寄与できるものである。

については、災害発生時において可及的速やかに対応するため、広範なネットワークを最大限に生かしたJGNならではの支援活動を明確化し、災害対応方針とするものである。

なお、実施に当たっては、被災地域の状況等により適切に対応するものとする。

記

1 災害に関する情報収集及び発信等

- ・被災地域またはその周辺地域の会員による正確な情報収集を行い、可能な限りの広報手段により正確な情報発信を図る。

2 災害に関する学術的・専門的な支援等

- ・被災地域の専門家が対応できない状況と判断される場合、JGNに協力する地震、火山等災害各分野の専門家、実務者による学術的・専門的な支援を提供する。

3 被災地に対する義援金、救援物資等の支援等

- ・被災地域への支援に関する募金・募集活動等を行う。

4 被災地域の状況により必要となる支援活動等

- ・災害とジオパークとの関わりを生かし、ジオツアー等による被災地域の振興を図る。
- ・被災地域からの具体的な要請等に対し、可能な限りの支援を行う。

5 防災学習の推進等

- ・防災マニュアルやハザードマップの見直し等について関係者間の情報共有を図り、普及啓発を行う。
- ・防災の基礎知識を学べるウェブサイトの構築を行う。